

# ひと

茨城県中古自動車販売協会・同商工組合 (JU茨城) 会長・理事長に就任した

## 堀江 知弘氏



様々な役職を経て今期、第4代JU茨城会長・理事長に就任した。JUの活動は89年に青年部へ入ったのが始まりで、「仲間のためになるなら」という思いから96年にJU茨城青年部会長へ就任、その3年目に2代目のJU関連協青年部会長も務めた。当時、青年部のオーケション(AA)への協力体制としては「車両を出品すること」が前提だったというが、あるとき「重要なのは成約率を上げるた

めに買いに行くこと」だと指摘を受け、気づかされたという。「成約率が上がれば出品も集まることが実証された」ことから、その流れは今でも引き継がれ、今日の青年部AAの高い成約率につながっている。指導環境委員長、総務委員長、小売振興委員長を務めたことから「協会員、組合員を守

### 業界の歯車としてAAを維持

る」ためには何が必要かを考えて様々提案、活動を行った。総務委員長時代には団体の累損解消に尽力。収益が上がった今は、組合員の会費負担軽減策につい

ても検討していく意向を示す。小売振興委員長時代に消費税増税反対を訴えた。税率が10%からさらに上がると個人間売買が増え、これまでのようにAAにクルマが集まらなくなることを危惧する。「AA相場があるから新車ディーラーも下取りが取れる」ことから業界の歯車としてAAを維持し、自動車産業の

のスペシャリスト育成を働きかける。会長・理事長となった今、これまで活動してきたことや訴えてきたことを実行力を持って推進する考えだ。自身を分析し「強いリーダーシップがあるわけではない。友達との輪の中でいつの間にか役に就いていた」と話し、「みんなの意見を反映させる」ため、周りに推される形で要職を引き受けてきたという。ただ、これまで取り組んだ実績からも「提案力や発想力はある。それを利用してもらえばいい」とし、組織運営では「一般会員の意見をすっと上に挙げられる道筋を作る」ことに努める。

信条は「楽しいときも苦しいときも遊びも仕事も一生懸命やる」こと。遊びができる人はいい仕事ができる証拠と考え、自らも忙しい合間に時間を作って旅を楽しむことも。(清水 泰典)

ほりえ・ともひろ ホリエオート社長。1983年拓殖大学経済学部卒。同年大東京火災海上保険入社、85年堀江自動車工業入社、89年ホリエオートに分社し、2008年同社社長に就任。JUでは96年JU茨城青年部会長、99年JU関連協青年部会長。2000年JU茨城理事、07年副会長。副理事長、15年5月現職。趣味はゴルフ、釣り、旅行。1960年1月生まれ、55歳。古河市出身。



発行所  
日刊自動車新聞社  
東京都港区芝大門1丁目10番11号  
購読料 1ヵ月5343円+税  
電話 東京(03)5777-2351代表  
©日刊自動車新聞社2015



6月23日  
(火曜日)

日刊自動車新聞 ウェブサイト  
<http://www.jid.jp>